

会議録

会 議 の 名 称	第1回三鷹駅北口街づくりビジョン改定委員会
開 催 日 時	令和7年7月 16 日(水) 18:00～20:00
開 催 場 所	武蔵野市子ども協会 会議室(4階)
出 席 者	饗庭 伸 東京都立大学教授(WEB 参加) 大沢 昌玄 日本大学教授 田口 友子 株式会社三菱総合研究所 主任研究員 臺 孝之 三鷹駅北口周辺のまちづくり関係者 矢作 真由美 三鷹駅北口周辺のまちづくり関係者 清水 一史 公募市民 平野 亜紀子 公募市民 大塚 省人 武蔵野市
会 議 の 議 題	1 武蔵野市三鷹駅北口街づくりビジョン 委員委嘱について (1)委嘱状交付 (2)荻野副市長挨拶 (3)委員自己紹介 (4)事務局紹介 2 改定委員会の運営について (1)改定委員会の設置について (2)委員長・副委員長の選出 (3)改定委員会の運営について 3 三鷹駅北口街づくりビジョン改定基本方針(案) 4 現行計画の事業の進捗状況について 5 改定委員会への諮問内容 6 改定委員会の進め方 ・スケジュール(案) ・各回の議題(案) 7 現状分析、今後の分析項目(案)について ・現状分析・分析項目(案)／近年の動向(基礎資料) 8 市民意見について 9 土地利用(都市計画)に関する講演(饗庭教授) 10 その他

発言者	発言の要旨
	1. 武蔵野市三鷹駅北口街づくりビジョン 委員委嘱について ～委嘱状交付、荻野副市長挨拶、委員自己紹介、事務局紹介～
	2. 改定委員会の運営について (1) 改定委員会の設置について ～事務局より設置基準等を説明～ (2) 委員長・副委員長の選出 ～委員長は委員の互選により、饗庭委員を選出、全委員了承～ ～副委員長は委員長の指名により、大沢委員を指名、全委員了承～ (3) 改定委員会の運営について ～事務局の運営案を説明、全委員了承～
	3. 三鷹駅北口街づくりビジョン改定基本方針(案) 4. 現行計画の事業の進捗状況について 5. 改定委員会への諮問内容 6. 改定委員会の進め方 ・ スケジュール(案) ・ 各回の議題(案) 7. 現状分析、今後の分析項目(案)について ・ 現状分析・分析項目(案)／近年の動向(基礎資料) 8. 市民意見について 以上、議題3～8まで事務局より説明し、その後質疑応答、意見交換～
A 委員	武蔵野市は、子育て世代に人気があり、会社の社宅も多く存在する。本ビジョンでは、特に、住む人、働く人に視点を当てていることから、当該エリアの世帯状況や、エリア内の建物が単身用かファミリー用か等について、傾向や特徴を分析することで、今後の居住者動向の手がかりになるのではないかと。
事務局	現況分析項目として検討する。検討結果を次回委員会等において、委員の皆様と共有したい。
委員長	住宅土地統計調査や国勢調査等で把握できる可能性が高い。また、都市計画現況調査等において、住宅の大きさや建物の種類を把握する方法等も考えられる。
B 委員	資料6-1に記載の三鷹駅北口街づくりラボについて、説明いただきたい。
事務局	三鷹駅北口街づくりラボは、平成 29 年に三鷹駅北口街づくりビジョンを策定した後、三鷹駅北口周辺の街づくりを盛り上げるための取り組み等について話し合いをする場として、三鷹駅北口周辺に本社機能を持っている企業や商店会等に声がけし、立ち上げた場である。三鷹駅北口街づくりラボでの議論やアイデアをもとに、パブリックスペース利活用の社会実験として、「ENJOY OPEN STREETs 武蔵野」や「ENJOY! OPEN TERRACEs 武蔵野」といった取り組みにつながっている。
事務局	改定委員会から三鷹駅北口街づくりラボに聞きたいこと等あれば、諮ることも可能。逆に三鷹駅北口街づくりラボでの議論内容も当委員会にフィードバックしたい。
副委員長	ビッグデータや、パーソントリップ調査のデータ等により、滞留人口や来街目的等の分析を行うと、今後の空間利用の手がかりになる。また、三鷹駅利用者の出発地、利用交通手段等のデータがあると良い。現在、三鷹駅北口は駅を出てすぐにバスロータリーがあり、駅周辺での滞在時間が短い。人と待ち合わせをする、少し買い物をして帰る等、滞在時間(＋αの時間)を増やしてもらう方法もある。当該分析により、どのような空間が必要になるのか検討の参考となる。

事務局	承知した。検討する。
C 委員	資料5の「緑・にぎわい」について、生き物や植生のデータがあれば、駅前にふさわしい質の高い緑の検討に繋がると思う。国木田独歩の小説「武蔵野」の中でも情景が浮かぶような具体的な樹種名が出てきている。生き物や植生において武蔵野の属性を定義することで北口らしい空間になるのではないかと。また、玉川上水の改修にも繋がるのではないかと。
事務局	確認する。生き物については、どこまでデータを提示できるかわからないが、要望に応えられるよう尽力する。
委員長	資料8-1の市民意見の地図が面白い。市民の行きつけの場所に対する、使いやすさ、使いにくさについても知りたい。公共施設に意見が集中しているため、民有地に対する意見や思いがあればよい。三鷹駅北口街づくりラボ等を活用し、そういった意見を集められればいいのではないかと。
事務局	改定委員会前のまち歩きで、居心地が良い場所や反対の場所を共有してもらったのは、そのような意見を聞くためである。今後も工夫をして取得に努めたい。
委員長	専門家ではなく、一般の方の意見が必要。SNS 等の投稿からキーワードを拾うことができると色々分かる可能性がある。また、地元商業者の意見が大切。地元の商店会で独自の調査などはあるか。
D 委員	そのようなデータはない。武蔵野市には3駅が存在し、三鷹駅は企業と工業の街で、企業がとても多い。一方で、ランチをする場所が少なく、昼時は常に混んでいる。ランチができるような場所が増えればよい。また、新型コロナウイルス感染症の影響でテレワークが普及し、寂れてしまった印象もある。企業の方からは、お酒を飲みに行く機会も減り、生活様式が変わった、という話も聞いた。ただ、現在も三鷹駅周辺のオフィスビルは、満床傾向にあり、三鷹駅を支店に選ぶ大手企業も増えており、需要は高い。
B 委員	ここ数年で三鷹駅北口周辺的美容室の数は増えている。コロナの時期に比べて来客数は戻ってきている。大手飲食店や本屋の移転、飲食店の減少で便利なお店が減った印象で、同様の声をお客さんからもよく聞く。駅前に飲食店がない、と思われている印象。今日のようなまち歩きをすると、飲食店を見つけられるが、働く人や来訪者には知られていない。三鷹駅周辺のお店を知ってもらう手段があればよいのではないかと。
委員長	お店の分布の地図があれば良い。
A 委員	9. 土地利用(都市計画)に関する講演 ～饗庭委員長より説明し、その後質疑応答、意見交換～ 都市計画は行政が主体となって進めていく部分が大きく、官民の役割分担が大事になる。ルールを1回作ったら終わりではなく、時代に沿って使い方を変えていく必要もあり、関係者の中で合意形成をどう図るかが重要。
委員長	大阪市梅田のグラングリーンは公共が主、下北沢は鉄道会社が主となって計画を進めた例である。下北沢では、行政が話し合いの場を開き、様々な意見を出し合い、合意形成を図っている。川崎市は、まちの特徴等を発見し、ブランディングするソフトな解決方法に取り組んでいる。
D 委員	都市開発に関するネガティブなニュースが多いがどう感じているか。また、人口減少の中で、建物を取り壊す開発が必要になってくるのではないかとと思うが、どう思うか、意見を伺いたい。

委員長	市街地再開発事業はこの約 20 年間実施されてきたが、最近、限界を感じる。2点目の質問については、その通りだと思うが、三鷹駅北口は、地方都市とは異なり、取り壊しても次がある。建設→取り壊し→空き地→建設までの期間が昔に比べると長くなると考えられる。どのように介入して面白いことや必要なことをやっていくかが問われる。
B委員	川崎市の、地区に小さな広場を持つという事例に関心を持った。今日まち歩きをして、三鷹駅北口は「ここ、いいね」という場所が曖昧だと実感した。地元の人、働いている人に、良さに気づいてもらえるよう、発掘することで明確に出来るのではと思う。丁寧に行くことで愛着も生まれる。ハードではなく、ソフトな考え方も持って進められればと思った。
委員長	中央線の駅前には、古い街が多く、三鷹駅のような場所が多い。面白い人が色んな所にいて、その人達を発掘し、繋げていくことでまちの個性が出る。
C 委員	広場と通路の説明が分かりやすかった。三鷹駅北口は、通路として利用している人が多い。にぎわいのためにオープンテラスの社会実験をしているのは、良い取り組みだと思う。今後、広場と通路のエリアの定義を明確にしていく方がいいのか否か、どう思うか。
委員長	人がどう溜まるかは、実験して確かめるしかない。出てきた結果をポジティブに捉えることが重要。ネガティブな結果が出ても、課題解決のプロセスとして捉えて、適切な空間設計をしていくことが重要である。
	10.その他 ～事務局より事務連絡～ 以上